

令和5年度

# 藤沢市の未来のために 決算を審査しました。

令和5年度一般会計および7特別会計決算など、合わせて8認定議案（総額2,932億920万9,832円）について9月27日に設置された決算特別委員会において、6日間にわたり審査が行われ、10月8日の本会議で全ての決算議案が可決および認定されました。ここでは、決算特別委員会の審査の概要をお知らせします。

**委員長** 松長由美絵    **副委員長** 神尾 江里

**委員** 土屋 俊則    小池 恵子    石井 世悟    柳田 あゆ    吉松 巳希    今井みきこ    佐野 洋

**令和5年度 決算特別委員会委員**

## 注目の質問と回答



**注目Point 1** **村岡新駅のまちづくりについて**

Q 村岡新駅のまちづくりに当たり、官民連携の手法を取り入れて進めると聞いているが、進捗状況を聞きたい。

A 本地区は研究開発拠点の創出を目的とし、官民連携によるまちづくりを検討しており、現在は、事業検討パートナー2者と民間事業者を公募する条件などの検討を行っている。

**注目Point 2** **ヤングケアラーへの支援について**

Q 精神障がいのある親をもつ子どもが自由に発言するために「こどもびあ」\*などの子ども会の活動が重要であると考えているが、市の見解を聞きたい。

A 現在、市内に精神障がいのある親をもつ子どもが自由に発言するための子ども会などの団体がないことから支援には至っていない。県内で活動している団体と意見交換を実施し、市内のニーズの把握に努める。  
\*こどもびあ…精神障がいのある親をもつ子どもの会

**注目Point 3** **「お寺でオペラ！！」について**

Q 「お寺でオペラ！！」のような地域に出向いてのコンサートの他地域での実施について、市の見解を聞きたい。

A 学校への訪問事業やサンパール広場、龍口寺での屋外コンサートなどの文化芸術の裾野を広げていく取り組みを継続して行っており、藤沢市民オペラの新しいファンを増やすことや次世代育成につなげていきたいと考えている。

**注目Point 4** **平和学習について**

Q 平和学習広島・長崎派遣プログラムにおいて、ユースリーダー\*の育成が大切だと考えるが、市の見解を聞きたい。

A 中心的な役割を担うユースリーダーの存在は重要なものだと考えており、ウクライナから避難してきた学生との意見交換や新聞記者による聞き方、伝え方の講座を実施するなど独自のプログラムを用意し、ユースリーダーとしての養成を図っている。  
\*ユースリーダー…大学生などのグループ指導員。

**注目Point 5** **本市の畜産農家への支援について**

Q 本市の畜産農家の営農継続に当たり、畜産業をどのように支援をしていくのか、市の見解を聞きたい。

A 畜産経営は大変厳しい状況が続いており、畜産飼料代高騰分に対する支援の継続を検討しつつ、自給飼料の生産に対する支援や国、県に対し、国産飼料の安定供給に対する要望を行うなど様々な取り組みを行っていき必要があると考えている。

**注目Point 6** **防犯カメラの設置について**

Q 防犯カメラを設置するに当たり、犯罪が起こった場所の統計などを取り、分析し、必要な場所に設置していくことも犯罪抑止につながると思うが、市の見解を聞きたい。

A 地域における防犯カメラの設置を検討する際は、犯罪発生状況なども重要な要素になるため、警察からの情報について活用を検討し、地域の特性に応じた対策を取っていく。

\*決算特別委員会の詳細につきましては、市議会ホームページの議会録画放映、および11月下旬ごろに掲載される会議録をご確認ください。

## 各会派の意見・要望

ここでは、決算に対する各会派の意見・要望の要旨をお知らせします。

市民クラブ藤沢、民主クラブ、藤沢市公明党、Visionふじさわ、湘南維新の会、自由民主無所属の会、We藤沢は全決算などに賛成し、アクティブ藤沢は令和5年度一般会計決算、下水道事業費特別会計剰余金の処分および決算に反対し、日本共産党藤沢市議会議員団は令和5年度一般会計決算他、5特別会計決算などに反対しました。

### 民主クラブ

#### 誰一人取り残さない政策の検討を

①防災備蓄資機材は、品目、数量など可能なものに関して、より丁寧な広報を。②市民が環境問題を自分事として捉えられるよう啓発の工夫を。③介護現場に寄り添った離職を生まない対策を。④保育士不足対策のために、賃金改善を含めた処遇改善策の実施を求める。⑤精神障がいのある親をもつ子どもの集まりやピアカウンセリング(\*2)などの支援に取り組むこと。⑥休日・夜間急病診療所について、一次救急医療体制の見直しを。⑦ラストワンマイル(\*3)の交通手段の拡充の推進を。⑧下水道施設の早期災害対策を。⑨支援を必要とする児童生徒が安全に通学するために必要な介助員派遣事業の予算増額を。⑩図書館費は市民のニーズに応えるよう拡充を。

### 日本共産党藤沢市議会議員団

#### 市民に冷たい政治はやめるべき

①窓口業務の民間委託化をやめ正規職員が行政サービスを担うべき。②ごみ袋の有料化はやめ当面袋の値段を半額にすべき。③高すぎる国民健康保険料を引き下げるべき。④過大規模校の解消へ学校の新設や分校の設置を検討すべき。⑤小規模契約簡易登録制度の改善と充実を。⑥村岡新駅の設置と周辺整備事業は中止しバス網の整備による暮らしの充実や公営住宅、高齢者施設など福祉の拠点を目指すべき。

### 湘南維新の会

#### 様々な分野で公民連携の取り組みを

①公民連携に取り組む自治体及びまちづくり企業への職員派遣研修の検討を。②犯罪被害者に対する支援策の早期整備を。③後継者が減少する水産業の新たな労働力として水福連携(\*6)の推進を。④民間企業のアイデア等を共有するアドバイザー派遣事業サービスの導入を。

### アクティブ藤沢

#### 社会貢献を果たす企業との共創市政を

①不登校生1,128人の居場所、学び保障を。②村岡新駅周辺企業に受益者負担求め、下水道使用料も累進度(\*7)上げ所得再配分機能強化で人、子どもへ投資を。

用語説明

(\*1) ナッジ理論…行動を強制したりすることなく、小さなきっかけで意思決定に影響を与え、より良い方向へ導く理論。  
(\*2) ピアカウンセリング…同じような立場や悩みを抱えた人たちが集まって、同じ仲間として相談し合い、仲間同士で支え合うことを目的としたカウンセリング。  
(\*3) ラストワンマイル…交通結節点から最終目的地までの人や物の移動。  
(\*4) リスキリング…職業能力の再開発、再教育のこと。  
(\*5) 粗暴犯…暴力によって他人に損害を与えた犯罪者。  
(\*6) 水福連携…水産業と福祉が連携し、障がい者等の水産分野での活躍を通じて、水産業経営の発展とともに、障がい者等の自信や生きがいを創出し、社会参画を実現する取り組み。  
(\*7) 累進度…累進使用料体系における1立方メートル当たりの最低単価に対する最大水量区分単価の倍率のこと。累進度が高いほど大口使用者への負担が大きいくことを意味

各会派の構成議員はP15をご確認ください。

### 市民クラブ藤沢

#### 学校施設の地域開放を

①SNSの特徴を生かしHPや公式LINEと連動可能な情報発信の強化を。②人を大切に、というメッセージをさらに発信し藤沢で育った郷土愛の醸成を。③窓口業務の民間委託の根本的見直しを。④災害応援を行った諸団体との意見交換により効果的な受援計画作成を。⑤各部署が連携しサマースクール拡充と待機児童ゼロへ。⑥緊急通報システムは携帯電話でも対応できるように改善を。⑦障がい児通所サービスの利用者負担軽減を。⑧ナッジ理論(\*1)を活用し検診・健康診査受診率日本一を。⑨安心できる各種予防接種環境のため適切な情報発信を。⑩年々経営が厳しくなる農業者への資材購入費などの補助率向上を。⑪新産業創出に向け継続的に経営相談ができる仕組みを。⑫今夏のドローン花火のような、コラボ花火大会の実施を。⑬新産業の森事業は永続的に継続される産業が根付く取り組みを。⑭放課後子ども教室は早期に全学区実施を。

### 藤沢市公明党

#### 少子超高齢社会の暮らしを支えるために

①災害対策にトイレカーの配備を。②気軽に妊活相談できる体制構築を。③塾や習い事に通うための学習支援クーポン券を。④医療的ケア対応の日中サービス支援型グループホームの開設を。⑤ICT活用のハイブリット型学習環境の整備を。⑥ヤングケアラー実態調査の実施を。⑦市内の観光資源に触れる婚活イベントの実施を。⑧ご遺族手続き支援窓口をワンストップ型へ。⑨高齢者へ、リスキリング(\*4)などの支援を。⑩心豊かな暮らしに向け生涯学習に注力。

### Visionふじさわ

#### 今後の市政運営に向けて

①粗暴犯(\*5)の増加に伴う防犯対策を。②資源協力金廃止は慎重な検討を。③放課後児童の居場所に公有財産の活用を。④少子高齢化が顕著な地区へ人口流入施策を。⑤持ち家に対する職員住居手当の廃止を。⑥県立総合教育センター跡地は市の使用目的に沿った形で取得を。

### 自由民主無所属の会

#### スピード感のある財政始動の実現を

①少年の森を地域に根差した施設へリニューアルすること。②ナラ枯れによる人的被害が生じないよう予防と適切な管理を。③持続可能な商店街となるよう適切な支援を。④用田1号水路の早期の工事完了を。⑤藤沢駅周辺地区再整備後の「まちのかたち」の積極的な情報発信を。

### We藤沢

#### 中学校原則全員給食へ向けた計画を

①中学校建て替えの際には給食室を。②教員の部活動手当増額を。③費用対効果の低い事業、低利用率の事業は、廃止を含め見直しを。④SNSの効果的活用を。